



金曾木だより

台東区根岸4-16-22 TEL 03(3876)3701 FAX 03(3871)9507
<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310218>

令和6年度 6月号
台東区立金曾木小学校
校長 大木 毅
令和6年 5月31日

「自ら学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子 自分のよさを伸ばす子」

『三かく運動のすすめ』

校長 大木 毅

台風1号が発生し、運動会の練習にも影響が出ている5月の最終週です。学校だより6月号が配布されるのは、運動会の前日です。6月1日(土)に良い天気の中で、「春季大運動会」が挙行されることを願っています。

さて、先日新聞記事のコラム欄を見ていましたら「三かく運動」という言葉を目にしました。なんだろうと読み進めると「汗をかく 字をかく 恥をかく」のことを「三かく運動」と言うそうです。この3つの「かくこと」が、私たち大人たちだけではなく、子供たちにも付けてほしい力であると書かれていました。私もその考えには共感しており、ぜひ金曾木小学校の子供たちにも身に付けてほしいと考えています。

【三かく運動】

1. 「汗をかく」

「若いうちには、苦勞をかってでもしろ。」とよく言われたものです。たいへんなこと、みんなが引き受けたくないこと、面倒なことをおろそかにするのではなく、自ら進んで取り組んで、汗をかこうということです。とかく人は、安きに流れてしまうものです。脳にも体にもたくさんの汗をかいて取り組んだことは、自分自身の財産となります。いい汗をかいて、みんなの役に立てる人になってほしいです。

2 「字をかく」

「ノートに書く、日記を書く」など、字を残す作業です。学校では授業の終わりに、学習を振り返りながら、分かったことや考えたことをノートに記入しています。日記を付けている人もいることでしょう。記録を残すことは、自分の歩みを軌跡として表せます。自分自身の振り返りができるというのは、心が落ち着いているからこそできることです。字を書く習慣も身に付けさせたいです。

3. 「恥をかく」

人前で話をすることは、緊張します。できれば避けたいと思う気持ちは、よく分かります。しかし、それでは、一向に上達しません。緊張しながらも恥をかいて、話をするチャンスを生かすことです。教室で発表するときも同じです。「何か変に思われなかなあ。」とか「同じ内容だから発表しなくていいや。」と考えて、話す機会を失わないようにしたいです。人前で恥をかいてこそ、身に付けられたことはきちんと定着します。

ご家庭でも「三かく運動」を意識していただけますとありがたいです。学校と家庭が一体となって、心身ともに健やかな子供たちの成長に尽力してまいります。